

令和7年度(2025 年度) 日韓文化交流基金 事業実績

一般会計

1. 自主事業

(1) 第 38 回日韓文化交流基金韓国訪問団

役員・評議員等合計 13 名からなる訪韓団を下記の日程で派遣した。

(日程)

	行事
令和 7 年 9 月 24 日(水)	ソウル到着 水嶋光一駐韓国大使表敬 金珍我(キム・ジナ)外交部第二次官表敬 李相禹(イ・サンウ)韓日文化交流基金会長主催歓迎晩餐会
9 月 25 日(木)	朝食懇談会 国立国際教育院表敬 韓相信(ハン・サンシン)国立国際教育院長主催昼食会 有識者との夕食懇談会
9 月 26 日(金)	帰国

(2) 日韓国交正常化60周年記念事業

トークセッション「国交正常化60周年とこれからの日韓交流」

令和 7 年 12 月 23 日 参加者 131 名

* 会場(国際文化会館講堂)及びオンラインのハイブリッド形式

<基調講演>

・小倉和夫 国際交流基金顧問(元 駐韓国大使)

<モデレーター>

・金敬黙 早稲田大学教授

<パネリスト>

・伊藤晃輝 大学生(高麗大学政治外交学科) *オンライン参加

・田邊瞳衣 大学生(高麗大学言語学科)

2. 賛助会員制度

(1) 加入（会費：一口1万円）の状況（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

種別(年会費)	人数/法人数	口数	金額
① 特別会員(3口以上)	6 名	20 口	200,000 円
② 個人会員(1口以上)	24 名	25 口	250,000 円
③ 法人会員(5口以上)	1 団体	5 口	50,000 円
計	30 名 1 団体	—	500,000 円

(令和8年3月31日現在有効会員)

①特別会員（五十音順）

小野正昭(3) 鹿取克章(3) 古賀信行(3) 中江新(5) 馬定延(3) 渡辺浩(3)

計 6 名

②個人会員（五十音順）

阿部孝哉	安倍誠	飯島渉	林在圭	内田富夫
長久光	姜英淑	木畑洋一	小林直人	小針進
高麗文康	阪田恭代	陽清学園 津谷正毅	西澤豊	福原裕二
藤田昭造	藤本幸夫	堀泰三	松井貞夫(2)	三浦むつ子
向修一	余田幸夫	和田とも美	匿名希望	

計 24 名

③法人会員

和光物産株式会社(5)

計1団体

(2) 会費収入の使途

(i) 【日韓国交正常化 60 周年記念講演会】

- ・ 令和 7 年 9 月 7 日 参加者：230 名
- ＊会場（国際文化会館講堂）及びオンライン配信のハイブリッド形式
「隣の国の人々と出会う～私と韓国」
（講師：斎藤真理子 韓国語翻訳者）

(ii) 【講演会】

- ・ 令和 8 年 3 月 7 日 参加者：102 名
- ＊会場（日韓文化交流基金会議室）及びオンライン配信のハイブリッド形式
「戦後日韓交流の現場から—留学・特派員・日本語・日本文化—」
（講師：秋月望 明治学院大学名誉教授）

(iii) 【学術定期刊行物助成】

対象刊行物 2 点に対する助成金（385,140 円）として活用した。

書名	申請団体
『韓国朝鮮の文化と社会』第 24 号	韓国・朝鮮文化研究会
『現代韓国朝鮮研究』第 25 号	現代韓国朝鮮学会

3. 外務省からの受託事業

「日韓歴史家会議」

プログラム名	開催日	会 場
講演会「歴史家の誕生」	令和 7 年 11 月 14 日	ソウル*
第 25 回会議 「噂とフェイクニュース（誤情報）の歴史」 参加者：日本側 13 名 韓国側 13 名	令和 7 年 11 月 15 日～16 日	大韓民国歴史博物館

*会場参加のほか、一部はオンラインにて参加

第1特別会計

日韓学術文化・知的交流事業

1. 助成事業

1次採用及び2次採用 合計31件

No.	事業名	申請団体	実施期間
1	第10次 21世紀の朝鮮通信使 ソウル～東京 友情ウオーク	21世紀の朝鮮通信使 友情ウオークの会	令和7年 4月1日～30日
2	日韓国交正常化60周年記念 親善チェロコンサート	日韓国交正常化60 周年記念親善チェロ コンサート実行委員 会	令和7年 5月8日
3	クロツラヘラサギフライウェイ 子ども交流プロジェクト	Team SPOON	令和7年6月22 日、令和8年1月 9日～11日
4	日韓青少年交流訪韓団	日韓親善協会中央会	令和7年7月27 日～8月1日
5	青少年日韓音楽交流会 in 大阪	SPIELRAUM	令和7年 8月2日～5日
6	第20回日韓学生未来会議	日韓学生未来会議	令和7年 8月4日～8日
7	第41回日韓学生フォーラム	第41回日韓学生 フォーラム	令和7年 8月6日～15日
8	日韓少年少女合唱団交流会	日田少年少女合唱団	令和7年 8月8日～10日
9	日韓歴史教育交流シンポジウム	日韓教育実践研究会	令和7年 8月9日～10日
10	北東アジア学生ラウンドテーブル 2025	北東アジア学生 ラウンドテーブル	令和7年 8月10日～19日
11	第5回日韓地理教育学会 共同シンポジウム	日本地理教育学会	令和7年 8月23～24日
12	国立大学法人筑波大学 令和7年度 社会貢献プロジェクト 「日韓の青少年による探究型国際 交流プログラムを活用した事業」	筑波大学探求型国際 交流プログラム 推進委員会	令和7年 8月25日～29日

No.	事業名	申請団体	実施期間
13	昭和音楽大学&ソウル市立大学校 日韓大学交流コンサート	昭和音楽大学	令和7年 9月18日
14	「日韓交流おまつり2025 in Seoul」大川義秋 派遣事業	KOTOMEN 大川義秋 韓国公演団	令和7年 10月11日～12日
15	「日韓交流おまつり2025 in Seoul」花柳寿紗保美 派遣事業	伝統芸能公演 HANAGATA	令和7年 10月11日～12日
16	日韓子どもと保育をつなぐ国際交 流事業 (日韓の絆づくりプロジェクト)	尚綱大学 「日韓国際文化交流 サークル」	令和7年 10月15日～19 日、令和8年1月 21日～23日
17	日韓国交正常化60周年記念「壱岐 の島」海洋プラスチックごみクリ ーン作戦とエコツーリズム大会	壱岐夢倶楽部	令和7年 10月25日～26日
18	令和7年度韓国姉妹校交流事業	三重県立 津商業高等学校	令和7年 10月27日～31日
19	茨城県立竹園高等学校・韓国大田 東新科学高等学校 国際交流	茨城県立 竹園高等学校	令和7年 10月28日～31日
20	国境を越えて海を守ろう	宗像 CSR 推進実行委員会	令和7年10月30 日～11月2日
21	専攻でつながる日韓の友情、共に 創る未来	坪村経営高等学校	令和7年 10月30日～11月 2日
22	Cabinet of Curiosities 2025 Korea×Japan～韓国語と日本語に よる新しい音楽創作の世界	一般社団法人 Cabinet of Curiosities	令和7年 11月14日～17日
23	日韓藝術通信 Vol.10	日韓藝術通信 実行委員会	令和7年 11月18日～30日
24	日韓国交正常化60周年記念 交流会「友情の花束」	日韓友情の花束 実行委員会	令和7年 11月21日
25	2025年 日韓市民未来対話	日韓市民未来対話 運営委員会 (任意団体)	令和7年 12月11日～13日
26	劇をとおしてつながる絆 ―韓国 の子どもたちと遊ぼう、つながろ う―	中部大学 劇団くれよん	令和8年 1月28日～29日

No.	事業名	申請団体	実施期間
27	愛媛日韓交流―韓国の伝統芸能<판소리(パンソリ)>を楽しむ―	愛媛県日韓大学生 交流会 トングラミ	令和8年 2月8日
28	PLAY & RECORD ―韓日高等学校 体育及び映像文化交流	韓国京畿映像科学 高等学校	令和8年 2月10日～13日
29	日韓合同映像制作企画 Global project	早稲田大学映画研究 会×仁荷大学 Light house	令和8年 2月14日～3月 1日
30	令和7（2025）年度 静岡・釜山新 朝鮮通信使友好事業	一般財団法人 静岡市国際交流協会	令和8年 2月20日～24日
31	SDGs Academy 2025	社団法人釜山韓日 文化交流協会	令和8年 2月21日～25日

2. 学術研究者交流事業

(1) 招聘

1次採用及び2次採用 合計14名

No.	氏名	研究テーマ	受入機関	期間
1	金甲植	日朝関係正常化と北東アジア への影響	慶應義塾大学 法学部	令和7年4月1 日～6月29日
2	張瑛秀	海洋水産分野における国際人 材養成と韓日両国大学の国際 協力方案	東京海洋大学 海洋生命科学部	令和7年4月1 日～6月30日
3	安度炫	韓末自衛団の設置をめぐる松 井茂の視線	東京大学大学院 総合文化研究科	令和7年4月20 日～10月16日
4	崔民赫	安倍能成の「文明」・「文 化」とデモクラシー論	東京大学大学院 法学政治学研究 科	令和7年4月21 日～10月10日
5	崔高恩	戦後の日本語文学における朝 鮮表象―トランスナショナル な読みの可能性―	東京外国語大学 大学院国際日本 研究センター	令和7年4月25 日～9月29日
6	申恩暲	日本大衆文化開放前の日韓映 画交流史―大林宣彦の未完の 合作映画を中心に	明治学院大学 文学部	令和7年5月7 日～7月5日

7	曹成虎	未婚人口の結婚・出生の価値意識と異性交際に関する日韓比較	国立社会保障・人口問題研究所	令和7年9月1日～令和8年1月31日
8	崔宰榮	韓・日の高校世界史教科書の叙述と歴史用語 - 中国の古代文明～9世紀を中心に	東京大学大学院人文社会系研究科	令和7年9月3日～令和8年2月27日
9	金受珉	植民地朝鮮における近代動物園、レジャー狩猟、そして畜犬登録法令は、人間と動物の関係をどのように再編したのか。人間と動物の近代的関係は、近代的人間像および政治的主体性の形成とどのような関係があったのか。	同志社大学社会学部	令和7年9月8日～令和8年3月6日
10	沈愨燮	日本型「衛生国家」の形成と植民地朝鮮における実践：釜山地域社会におけるコレラ対策と衛生施設の社会的影響を中心に	東京大学大学院総合文化研究科	令和7年9月22日～令和8年1月19日
11	黄教連	チフスのネットワーク：日韓微生物学交流からグローバルな歴史へ	総合研究大学院大学統合進化科学研究センター	令和7年10月1日～令和8年3月29日
12	宋政炫	地域の文化コンテンツを活用した経済活性化研究	岡山商科大学経済学部	令和7年10月15日～令和8年2月11日
13	李政桓	戦後日本の価値観外交論の歴史の変容における韓国の位置	東京大学東洋文化研究所	令和7年10月20日～12月19日
14	河采均	冷戦期アジア地域主義の発展：日本と韓国のアジア外交と安定保障	東京大学公共政策大学院	令和7年11月15日～令和8年3月30日

(2)派遣

1次採用及び2次採用 合計 2名

No.	氏名	研究テーマ	受入機関	期間
1	酒井亮人	韓半島三国時代における日韓交流の二重構造—韓半島軟質土器を中心に—	慶北大学校 考古人類学科	令和7年10月 1日～令和8年 2月28日
2	玉井秀明	変容する韓国社会と国際秩序：日韓関係における接点と緊張	高麗大学校 グローバル日本研究院	令和8年2月 25日～3月31 日

3. 情報広報事業

(1)広報誌

「日韓文化交流基金NEWS」第102号を令和8年2月末に刊行

(2)ウェブサイト

事業の広報・情報提供を目的にウェブサイトを運営している。

(3)エックス(旧ツイッター)

基金ウェブサイトの更新情報や各種行事の参加募集案内に加え、事業の様子などを短い説明と写真等を用いて、可能な限りタイムリーに発信している。

登録者数は2,055名(令和8年5月27日現在)。

(4)フェイスブック

事業実施の様子などを写真と文章で紹介している。

登録者数は1,071名(令和8年5月27日現在)。

(5)インスタグラム

令和6年3月よりアカウントの運用を開始。事業の様子などを写真・動画等を用いて可能な限りタイムリーに発信している。

登録者数は1,050名(令和8年5月27日現在)。

4. 人的交流事業

日本の高校生、大学生や教員を韓国へ派遣し、各種視察、関係者との懇談及び交流を通じて、日韓間の相互理解と信頼関係の増進に寄与することを目的とする交流事業を実施。

派遣事業 合計 6 団体 250 名				
No.	案件名	招聘	派遣	期間
1	日韓学術文化交流事業訪韓団 (第 1～2 団)	－	65	令和 7 年 8 月 20 日～26 日、 6 泊 7 日間
2	外務省外交部相互派遣 大学生訪韓 団	－	30	令和 7 年 10 月 10 日～18 日、 8 泊 9 日間
3	高校生訪韓団(第 1～2 団)	－	109	令和 7 年 11 月 2 日～8 日、 6 泊 7 日間
4	職業系高校生訪韓団	－	46	令和 7 年 11 月 19 日～25 日、 6 泊 7 日間

5. 日韓国交正常化 60 周年記念事業シンポジウム「朝鮮通信使という『智恵』」

令和 7 年 5 月 31 日 参加者:163 名

*会場(都市センターホテル)及びオンライン配信のハイブリッド形式

<発表者／発表タイトル>

・吉田光男 東京大学名誉教授・放送大学名誉教授 「朝鮮王朝の政治システムと通信使」

・田代和生 慶應義塾大学名誉教授 「朝鮮通信使と対馬藩の役割」

・石田徹 島根県立大学国際関係学部教授 「朝鮮通信使と訳官使—2 つの使節と対馬藩—」

・木村拓 中央大学文学部教授 「朝鮮通信使の称号に込められた意味」

第 12 特別会計(JENESYS2025)

(1)招聘事業 合計 9 団体 307 名

No.	案件名	招聘	派遣	期間
1	日韓学術文化交流事業訪日団 (第 1～2 団)	95	－	令和 7 年 6 月 3 日～11 日、 8 泊 9 日間
2	在外公館選抜 韓国青年訪日団(第 1 団)	30	－	令和 7 年 7 月 8 日～16 日、 8 泊 9 日間
3	外務省外交部相互派遣 韓国大学生訪日団	30	－	令和 7 年 11 月 5 日～13 日、 8 泊 9 日間
4	在外公館選抜 韓国青年訪日団 (第 4～5 団)	71	－	令和 8 年 1 月 20 日～28 日、 8 泊 9 日間
5	在外公館選抜 韓国青年訪日団 (第 6～8 団)	81	－	令和 8 年 2 月 3 日～11 日、 8 泊 9 日間

(2)フォローアップ事業 韓国側 544 名、日本側 17 名 合計 561 名

No.	案件名	既招聘者	既派遣者	期間
1	JENESYS 韓国青年訪日団同窓会	510	－	全 9 回(令和 7 年 6 月 21 日、8 月 7・21 日、12 月 19 日、令和 8 年 2 月 11・21・25 日、3 月 7・21 日)
2	2025 日韓次世代会議	34	17	全 2 回(令和 7 年 11 月 22 日、令和 8 年 1 月 10 日)

第 14 特別会計(令和 5 年度補正予算)

招聘事業 6 団体 225 名

No.	案件名	招聘	派遣	期間
1	在外公館選抜 韓国青年訪日団 (第 2～3 団)	64	－	令和 7 年 7 月 22 日～30 日、 8 泊 9 日間
2	韓国高校生訪日団(第 1～2 団)	108	－	令和 7 年 9 月 14 日～20 日、 6 泊 7 日間
3	在外公館選抜 韓国ジャパンリポーター 訪日団	19	－	令和 7 年 9 月 26 日～10 月 2 日、 6 泊 7 日間
4	韓国ニューリーダー訪日団	34	－	令和 7 年 12 月 20 日～28 日、 8 泊 9 日間

第 15 特別会計(JENESYS2024 Phase II 補正予算)

招聘事業 3 団体 155 名、派遣事業 2 団体 104 名 合計 5 団体 259 名

No.	案件名	招聘	派遣	期間
1	韓国大学生訪日団(第 1～2 団)	105*	－	令和 7 年 6 月 24 日～7 月 2 日、 8 泊 9 日間
2	韓国職業系高校生訪日団	50	－	令和 7 年 9 月 21 日～27 日、 6 泊 7 日間
3	大学生訪韓団(第 1～2 団)	－	104	令和 8 年 3 月 11 日～17 日、 6 泊 7 日間

*団員 105 名中、7 名については第 13 特別会計(JENESYS2022 Phase II 補正予算)により実施した。